

平成29年度
医療連携研修 医療連携3 報告書

日 時 平成29年11月21日火曜日 午後6時30分から午後9時00分
 場 所 八王子市役所 本庁舎 8階 801会議室
 内 容 1 難病の制度と保健所との連携
 2 難病の利用者における訪問看護ステーションとの連携
 講 師 1 八王子市健康部保健対策課 課長補佐兼主査 保健師 片岡幸子氏
 2 八王子市医師会立訪問看護ステーションサテライト西 所長 看護師 小野志江氏
 参加者 高齢者あんしん相談センター職員 20名(10事業所) 居宅介護支援事業所職員 101名(61事業所)
 合計 121名

研修会終了時 アンケート 結果 (回収数 : 113)

1. 研修会全体の内容はいかがでしたか。

回答	回答数	率
① 満足	58	51%
② やや満足	36	32%
③ やや不満	3	3%
④ 不満	0	0%
未選択	16	14%
計	113	100%

2. 「難病の制度と保健所との連携」についてお伺いします。

(1) 資料はわかりやすかったですか。

回答	回答数	率
① わかりやすかった	79	70%
② ややわかりやすかった	27	24%
③ ややわかりにくかった	4	4%
④ わかりにくかった	1	1%
未選択	2	2%
計	113	100%

それぞれ選んだ理由を記入してください。

① わかりやすかった を選択
いくつかパンフレットがあり分かりやすかった。
簡潔だったので。
基本的な事項が載っていたので学べた。
講義テーマに関連したケアマネも実務時に参考になる資料が多数、今後の業務に活かせるものがあり参考になる。
コンパクトにまとめた資料が使いやすいと思いました。
残念ながら難病の方は受け持ったことがなく・・・将来役立つと良いなと思います。
資料による情報提供は活用させていただこうと思う。

図がとてもわかり易かった。
組織が理解できた。
何かあったら電話したいと思います。
難病情報センター案内、障害者総合支援法疾病一覧。
難病について理解を深めることができた。
話し方も分かりやすかったです。
必要な情報が集約されていたと思う。
別々になっていて。
勉強になりました。
ポイントが絞られていて講師の方のお話の流れに沿っていたから。
ポイントを押さえてあり見やすかった。
保健師の役割や難病患者とその家族を支援する仕組みがわかりやすくまとめられていました。
保健所がどう関わっているのか、難病と言われるものがどれだけあるのか、どんな法律で支援されるのか、患者とその家族をどうサポートしていくのか・・・とても良く分かり貴重な資料もありがたいと思いました。
ぼんやりしていた詳細な部分がレジメと共に理解に繋がった。
見やすい資料が多かった。説明も聞きやすかった。
見やすく説明も良かった。
難しい内容を一般の方にも分かりやすいように説明してくださった。
利用者様を新しく受けた時にスムーズになると思いました。3Fに保健師の方がいるということもわかったし。
わかりやすいです。ホームページも参考にしていきます。

② ややわかりやすかった を選択
多い症例のの順位etc資料に載せてもらえる良かった。
資料(パワポのコピー以外)の見方をもう少し詳細に説明してもらいたかった。
資料が沢山あり理解できない部分もあります。又ゆっくり読んでみたいと思います。
制度等はまだ理解が進まなかった。
説明は丁寧だったが内容が難しいので・・・
大変重要な問題だったのでもっと時間が欲しかった。
保健所に問い合わせの可能性のあることを理解した。
保健所の仕事内容が分かりやすかった。
難しい。理解に時間がかかるようになりました。
もう少しゆっくり話してほしかった。
文字が細かく難しい専門機関が理解しにくかった。

③ ややわかりにくかった を選択
実際に関わりがないため理解しづらかった。
範囲が広いためもっと時間をかけて詳しく説明してほしい。

④ わかりにくかった を選択
資料のつながりが分かりにくい。

(2) 説明内容について理解できましたか。

回答	回答数	率
① 理解できた	41	36%
② だいたい理解できた	65	58%
③ あまり理解できなかった	4	4%
④ 理解できなかった	0	0%
未選択	3	3%
計	113	100%

それぞれ選んだ理由を記入してください。

① 理解できた を選択
今まで勉強したことの再確認ができたから。
説明により所在地などすぐ頭にイメージできるので。
とてもわかりやすい説明だった。言葉も話し方もとても良かった。
とてもわかりやすかったです。
八王子市の現状が理解できた。
早さとポイントが聞き取りやすく理解できた。
保健師、医師、ケアマネそれぞれの立場での業務内容を分かりやすく説明して下さったから。
保健師の役割が理解できた。
ぼんやりしていた詳細な部分がレジюмеと共に理解に繋がった

② だいたい理解できた を選択
以前保健所の難病の勉強会に参加した事があったためより分かりやすかった。
大まかな内容は理解できた。
概ね知っている内容でしたが資料にそってまとまりがあって良かったです。保健師さんにやって頂ける内容がわかりました。
聞きなれない難病もあったが大体わかった。
経験不足でよく分からない。
助成のしおり等をいただけとても参考になった。
資料が分かりやすかった。
伝えたい事が多く見返さないと理解が大変。
当方の知識不足、理解力に問題で講師説明はとても丁寧と思う。
難病等、病状等の相談が保健所で行えることなど理解できた。
難病の方にまだ関わったことがないので、自分自身の知識不足から全ては理解できなかった。
初めてのお話の部分もあり理解できないところもありましたので、事業所に戻って振り返りをしたいと重います。
パンフレット等を利用しながら
保健所の組織をイメージとして理解しづらかった。
保健所の保健師さんとも相談ができたり、連携を取ることができるということが分かりました。
保健所の役割がわかったことが良かった。
保健所の役割や難病の理解ができた。
もう少し具体的な取組を紹介してもらえると相談のイメージが湧きやすかったと思う。

もう少しゆっくり話してもらえるともっと良かった。考えている間にわからなくなってしまう。できれば事前に資料を。

理解できたのですが、もう少し時間を取って詳しい説明を受けたかったです。

分かりやすく説明してくれた。

淀みなく話し続けられ、気を抜くことができない。大事な話が続きいい勉強になった。・・・疲れた。

③ あまり理解できなかった を選択

どんな担当がいるのかは理解できた。

難病の方の支援では初期の方や軽度の段階の方の支援が多く、どのレベルの方まで対応できるか個別ケースの中で確認していきたい。

身近ではない病気なので難しいが災害時のことも考えなくてはならないと感じました。

(3) 講義で取り上げられた内容はいかがでしたか。

回答	回答数	率
① 満足	69	61%
② やや満足	34	30%
③ やや不満	3	3%
④ 不満	0	0%
未選択	7	6%
計	113	100%

それぞれ選んだ理由を記入してください。

① 満足 を選択

医療関係者を味方にするという言葉に、訪看との連携をしっかりとしようと思った。

介護保険外の家族の支援など相談できたら助かります。

家族や患者さんに紹介したり説明するのにとても良い内容だった。

患者、難病やその支援内容について知らないことが多かったので参考になった。

具体的で。

ケアマネとして関わる際に既に助成手続きを受けている方が多いが、今後医療依存度が高い方を支援する際の参考になった。

現場での連携の難しさを率直に話してくださったから。

この程度で良いのでは。ケースにより問題は異なるため疾患が多々あると又違う。

実際に対象となる利用者を受け持たないとわからなかった事をイメージすることができました。

知りたいことがとても良く分かりました。

説明と資料共に良かった。

難病、障害制度については難しい為、また研修会をお願い致します。もっと教えて頂きたい。

八王子市の現状や八王子保健所の組織、東京都の支援事業などの情報が得られて良かったです。

普段あまり接しない内容だったため。

保健師さんがいっぱい伝えたい気持ちが伝わった。

保健師さんと今後連携しやすくなったと思います。

もう少し話を聞きたかった。2時間半費やしても良いと思った。
 分かりやすかったから。

② やや満足 を選択

介護支援として関わる障害等ある程度理解できた。
 現在も今後も難病の方に関わる事があると思う。
 在宅療養難病患者の支援制度についてわかりやすかった。
 仕組み等も理解できたが少し早すぎる。(時間の関係?)
 事例があるとわかりやすいと思いました。
 難症のそれぞれの病状や介護方法について聞きたかった。
 苦手な分野だったので新しい情報として知ることができました。
 保健師さんから聞く初めての話としては良かったが、もう少し具体的な例が沢山あると理解しやすかったと思います。
 もっと勉強が必要と感じました。

③ やや不満 を選択

具体的でない。
 結局調べる必要がある。内容が入ってこなかった。
 難病があまり馴染みがなく日々役立つ内容ではなかった。

未選択

難病の方は活動範囲は狭くなっていく。前向きに生活する場を作る方法はないか。

3. 「難病の利用者における訪問看護ステーションとの連携」についてお伺いします。

(1) 資料はわかりやすかったですか。

回答	回答数	率
① わかりやすかった	69	61%
② ややわかりやすかった	35	31%
③ ややわかりにくかった	5	4%
④ わかりにくかった	0	0%
未選択	4	4%
計	113	100%

それぞれ選んだ理由を記入してください。

① わかりやすかった を選択

介護保険と医療保険、指示書etcわかりやすかった。
 簡潔で。
 簡潔な資料はわかりやすかったです。
 疑問に挙がりやすい内容について説明があつて良かった。
 空欄のところを読みながらの進行だったので一緒に考えながら学ぶことができました。
 指示書のフォーマットを載せてくださるなど、視覚で確認できて良かったです。
 資料がよくわかりやすい。
 事例を通しての説明はよく理解できた。
 必要最低限の紙面に絞りこんでいた。

日々の業務の再確認ができた。
訪看の役割がよくわかった。
訪問看護指示書、訪問看護の仕組みが具体的に示されていたから。
見やすかった。もう少し図が大きいと良い。
元々使用していることなので分かりやすかった。

② ややわかりやすかった を選択
具体的な訪問看護のサービスについての資料が分かりやすかった。
全部理解するのは難しい。
だいたいわかりやすかったが、字が見えづらい所がいくつかあった。
流れが分かった。
難病利用者との訪問看護ステーションにおける連携については理解できた。

③ ややわかりにくかった を選択
印刷不明瞭、文字が小さくて読みにくかった。
症例の部分はパワーポイントを見ながらなので、記入したものの方が分かりやすかった。
指示書についての説明が具体的。
文字が小さいため内容が見えず。

(2) 説明内容について理解できましたか。

回答	回答数	率
① 理解できた	62	55%
② だいたい理解できた	42	37%
③ あまり理解できなかった	4	4%
④ 理解できなかった	0	0%
未選択	5	4%
計	113	100%

それぞれ選んだ理由を記入してください。

① 理解できた を選択
看護→介護へ指導して引き継いでいく CMもそれについていきたい。
講師の方の温かい思いがよく伝わってきたので。
実際の症例を取り上げて訪看の役割を説明していただけたのでわかりやすかったです。
症例の紹介もわかりやすかった。
事例(症例)があったのでわかりやすかった。
事例もあってわかりやすかったです。
心理的支援の重要性がよくわかった。
説明が丁寧でわかりやすかった。
説明がわかりやすかった。症例がとても良かった。
というよりは、内容的にやさしすぎた。
難病の方の連携がとてもわかりやすかった。
訪看さんが事業所として身近な存在なのでイメージしやすかったです。
理解できたと自分で思う。
わかりやすかったので。

日々の業務の再確認ができた。

② だいたい理解できた を選択

医療のことが少し難しいところもあったが、よくわかった。

具体的な事例が聞けて良かった。

症例が良かった。わかりやすかった。

事例を挙げての説明はとても良かった。

利用者と訪問看護ステーションの連携については理解できた。

(3) 講義で取り上げられた内容はいかがでしたか。

回答	回答数	率
① 満足	60	53%
② やや満足	38	34%
③ やや不満	5	4%
④ 不満	2	2%
未選択	8	7%
計	113	100%

それぞれ選んだ理由を記入してください。

① 満足 を選択

ALSの方を担当しています。とてもいい話を伺えたと思っています。ありがとうございました。

希望が引き出せるように心を砕いているという言葉が印象的でした。

共感できる内容が良かった。

具体的で小野さんが療養の中で生きることに希望を持っていただけたらという思いが素晴らしいと思った。

とても具体的で参考になった。

ケースの事例ありがとうございます。こんなケースも在宅に！と驚きました。週間表も見えかったです。

現在の支援の内容でとても勉強になった。

現場での事例を交えて話して下さったのでイメージが付きやすかったから。

在宅での支援について多職種での関わりがよく説明され素晴らしいと感じた。

在宅への方向を厚労省が出している中、より重度の人が在宅へ帰って来ると思います。それをどう支援していくのか訪問、訪問介護との連携、CMとしてどう動いていくか、考えていきたいと思っています。

指示書についての知識が曖昧でしたが、詳細が学べて良かったです。

症例でイメージがしやすい所が良かった。

症例のケースでわかりやすかった。

事例があるとわかりやすい。

事例を通して本人の希望が見える在宅生活が送れている。

チームで関わることの大切さが分かった。

チームプレイ、連携により医療依存度が高い方でも在宅で生活できること。

みんながチームになって1人のひとを支える今後そういう仕事をしていけたらと思います。

難しい問題を抱えた方でもチームでサポートできるということを学びました。訪問看護師さんやヘルパーさん達と一緒に協力体制が作れるとよいと思います。

② やや満足 を選択

ALS以外でも難病での事例が多く紹介して頂けるといういろいろなケースでの対応が目に見えてくと思う。

ALSの方の在宅についてのリアルな事例で良かった

医療と介護の違いがわかり参考になった。

ケースについてのケアマネの実際の動きを聞いたのは良かった。

限界があるのでこの程度で良いと思う。

事例が良かった。在宅でのFa、本人の気持ちがよく理解できた。

事例が1つだったので病気によりプランも変わってくると思うので他の事例と比較できると良かった。

他職チームとしての役割等について、内容について知りたかった。

どのような時にケアマネとの連携が必要であるなか、家族支援の視点もあると良かった。

難病自体の理解が薄い。

もっと色々な事例を聞きたかった。

連携部分をもう少し詳しく資料、説明が欲しかった。

③ やや不満 を選択

事例について時間経過を追って状況を伝えて欲しかった。サービスの週間予定表などを伝えて欲しかった。〇〇があって〇〇したでは内容の様子が伝わらないです。本人と訪看の関わりの変化を伝えてほしい。

④ 不満 を選択

普通に日々接している訪看との連携について学びたかった。

4. 医療連携研修についての要望

ありがとうございました。

医療依存度の高い方の在宅療養が難病患者も含め今後増えていくだろうと思うので、医療との連携以外に今回のような(前回の田中院長の講義も含め)研修を今後も定期的に行ってほしい。

医療に携わっている現場の方のお話を聞けるのはとてもありがたい。お忙しい中貴重なお話ありがとうございました。

医療の制度等今後も変わっていくのに合わせ連携の仕方も変わる必要があると思われる。今後もタイムリーな情報が欲しいので随時研修を組んで欲しい。

医療費の助成についての具体的に教えてほしい。

具体的なDr、CMとの連携方法をワークで話し合う機会があると良いと思う。顔を合わせる機会を研修という枠で定期的に確保してほしい。

ケアマネジャーとの関わり方はなかなか困難なため、ケアマネジャー自身ももっと知識を持たなければならないと思う。自分にとってはとても良い研修だったと思います。

今回のような直接現場で活かせる研修をしてほしい。

今後も続けてほしい。

市の渉外担当からのサービス説明もあれば更に良いと思う。

重度障害の対応について(あまり症例がないので)

重度ヘルパーについて勉強したい。

助成について詳しく学びたい。

少しずれるかもしれませんが、障害の方の話も聞きたいです。

セカンドオピニオンが欲しいと言われた時どうすればいいか聞きたい。

どこまでが医療でどこまでが介護になるのかの、区別はケースバイケースなのかと思うが、明確な基準や利用方法が理解出たらと思います。

パーキンソン等普通に接している利用者様やターミナルについての連携を学びたい。

保健所でも事例があればイメージしやすかったと思います。介入からサービスまで等どのように繋げていくといったような難病なので、進行によるタイミングや程度。

良い内容でした。勉強になりました。ありがとうございました。

連携の仕方について、わかりやすく説明が無い。

